

菅谷まちづくり

広報誌 第23号 令和4年10月25日発行

発行者 菅谷地区まちづくり委員会 委員長 平野 道代

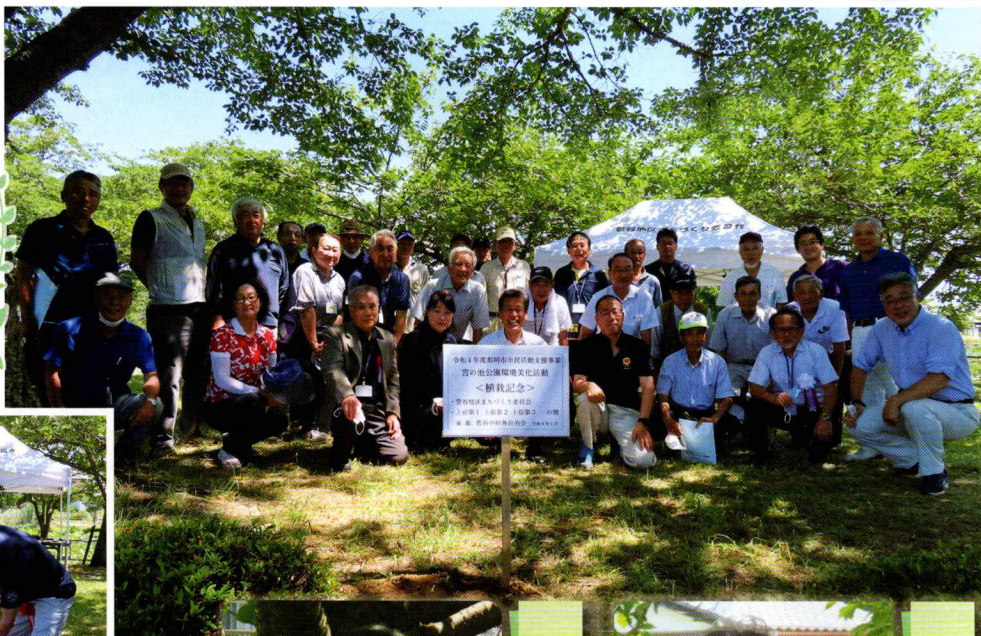
企画編集 菅谷地区まちづくり委員会総務部会

〒311-0105 那珂市菅谷2378-1 (菅谷地区交流センター)

☎029-295-7175 / Fax029-229-0832

No.23

美しき
安らぎと
憩いの場を



上宿第一、上宿第二、上宿第三、一の関、菅谷中宿、東組の6自治会会長らの手で行われた土入れ式



先崎市長



平野委員長

各部会におきましても感染予防に配慮し、総会で採択された事業に対し関係機関の皆様のご協力を頂きながら準備を進めております。世代を超えて活力ある、明るく過ごせる地域づくりを目指し、まちづくり委員会一丸となって頑張っていく所存でございます。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

菅谷地区まちづくり委員会では、令和4年度の総会を书面議決とした結果、本年度も承認を頂きスタートすることが出来ました。まちづくり委員会と致しましては、感染状況を注視しながら各種事業に取り組んでまいりたいと思っております。今年度の新規事業として環境部会が中心となり、地域の憩いの場作りを2年かけて準備してきましたところです。市の市民提案事業に申請し採択され、この6月に宮の池公園の整備事業としてスタートすることが出来ました。事業の開始に先立ち開会セレモニーが晴天に恵まれ執り行われました。先崎市長はじめ、ご来賓の方々にご挨拶頂いたのち、菅谷地区自治会長、各関係機関の皆様方と植樹をいたしました。この事業はこれからの除草、ごみ拾い等に取り組み、菅谷の自然と憩いの場所を守るための継続事業でございます。

皆様方には、日頃よりまちづくり委員会の事業運営に対しまして、ご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

菅谷地区まちづくり委員会
委員長 平野 道代

コロナ禍での事業推進に向けて

環境部会

那珂市市民活動支援事業 「宮の池公園環境美化活動」にむけて

宮の池公園は、上菅谷駅前前の宮の池公園通りを挟んだ両側に、遊具類が設置してある北側の公園(常陸太田方面)と2面の宮の池がある南側の公園(水戸方面)があります。

南側は元々周辺にあった水田の農業用溜池跡地ですが、この公園一帯は、那珂市「広報なか」で紹介した特集記事「なかよしさんぽ」の「いばらきヘルスロード」や「新日本歩く道紀行100選」の中に含まれており、この地域の中で両宮水系遊歩道を通り、市の中心部菅谷地区を巡るヘルスロードコースです。

菅谷地区まちづくり委員会は近隣住民に限らず、一般市民や高齢者のウォーキング・散歩コースとして、訪れやすくホットする憩いの場、休憩の場になるよう2年計画で、南側公園の環境美化向上を図るべく、「宮の池公園環境美化活動」を提案し、6月25日植樹記念式典をスタートとし、近隣の自治会と共に次の項目の美化活動を開始しました。

① 宮の池周辺及び緑地の清掃活動(空き缶、ペットボトル、紙くずなどのごみ拾い)

② 桜の木の間に花が咲く低木42本を一定間隔で植栽及び樹木管理



南側公園は、春は桜の名勝地であり、四季を通して市民の皆様が訪れやすい、憩いの場の公園になるよう、定期的に周辺の環境美化に取り組んでいく計画です。

令和4年度花と緑のまちづくり 「菅谷地区花と緑の環境美化」ラウンド

今年度の「花いっぱい花壇コンクール」は各自治会で取り組まれている6団体の応募があり、豊かな自然と地域の花いっぱいいを、花壇作りを通して拝見しました。

今年花の成長時、猛暑と雨が少ない早い梅雨明けで、花壇は乾燥し頻繁な水撒きや手入れに、ご苦労されたことと思います。

那珂市の花である「ひまわり」や色鮮やかな「マリーゴールド」「ペチュニア」



最優秀賞：一の関西フラワーロード

「ベゴニア」「ケイトウ」「ナデシコ」等々が整然と植栽されていました。年々進化する花の配置や色彩の組合せなど、センスよくデザインされ、花壇全体の見え目など見栄えのいい、いきいきとした花であり、心を込めて手掛けた関係者の「花壇」という作品の様でした。これからの「花壇づくり」という「花への愛情」を共有し、各自治会での世代間隔たりなく住民同士の連携や、地域活性化などを図り、通りすがりの人も、車で行きかう人にも「花いっぱいのおもてなし」が出来る、まちづくりをお願い致します。

環境部会長 五十嵐 順次



奨励賞：中宿愛宕ガーデン



奨励賞：寄友会(寄居)



奨励賞：ときわ台自治会



優秀賞：下宿上子ども会



優秀賞：いきいきサロン日の出会(東組)

地域福祉部会

「ふれあい給食」を実施

一人暮らしふれあい給食は、高齢者の支援事業として毎年、地域内の給食ボランティアの皆さんと、高齢者の見守り活動をされている民生委員さんにご協力をいただき、手作り弁当を届けてきましたが、今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地元のお弁当業者にご協力いただき、従来同様のお弁当をお届けする体制をとりました。

上半期は5月25日(水)、7月20日(水)、9月28日(水)に実施され、民生委員の皆様が菅谷地区交流セン



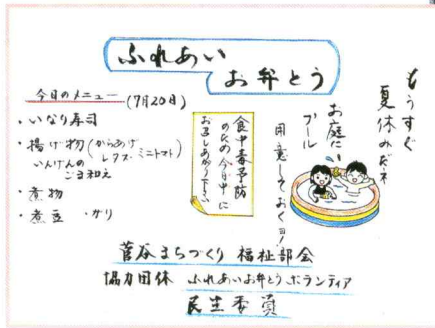
民生委員さんがお届けします

ターで受け取った暖かいお弁当を、それぞれの希望者の昼食に間に合うようにお届けすることができました。今後は、11月30日(水)、2月22日(水)に行われる予定です。



美味しそうで栄養たっぷり

真心あふれる掛け紙



「菅・まち・テラス」 爽やかに開催

コロナ禍の中、地域福祉部会は、メイン行事の一つである「菅・まち・



楽しい団らんのひととき

テラス」の開催に踏み切りました。各テーブルに除菌シートを備えるなど、感染対策を念入りに行つての開催です。



エイッ! ヤーッ!

計画通り、6月18日(土)、8月20日(土)、コロナ前と同じスタイルでの開催は久しぶりでした。しかしコロナ禍のため、内容を縮小し、軽食の提供はやめ、飲み物の提供、民生委員・児童委員の方々のかき氷・ポップコーン・綿あめの提供、そして子供たちへの駄菓子の提供、スイカ割りなどを行いました。

PRが行き届かないなかで開催しましたが、150名からの参加がありました。参加してくださった方々、特に子供たちは暑い中、スイカ割りをし、自分たちで割ったスイカをほうばり、かき氷に舌鼓をうち、楽しそうでした。

今回は12月17日(土)です。新型コロナウイルスが落ち着き、皆さんの笑顔あふれるテラスの開催ができることを願っております。

地域福祉部会 船橋 和江



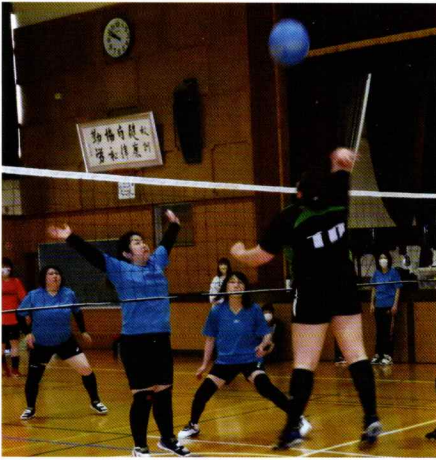
ワクワクのくじ引きも

体育部会

第63回 選抜ソフトボール、 バレーボール、 菅谷地区予選会

令和4年6月12日(日)、十分なコロナ感染対策のうえ、バレーボールの部が菅谷小学校校体育館で開催されました。実力伯仲で全試合接戦でありましたが、笑顔あり、和気あいあいと各選手とも楽しく、いい汗を流していただきました。

また、ソフトボールの部は雨天により、同6月19日(日)に延期となり、一転猛暑の中での開催となりました。その影響から2チームが棄権となつてしまいましたが、怪我や熱中症等もなく熱戦が展開されました。



素早いアタック



優勝 中宿



優勝 一の関

結果は次の通り。

〔皮バレーボールの部〕

優勝 ひがしクラブ

※参加1チーム 不戦勝

〔ソフトバレーボールの部〕

優勝 中宿

準優勝 しもかみバレーボールクラブ

※参加3チーム

〔ソフトボールの部〕

優勝 一の関

準優勝 さぎ内

※参加8チーム

体育部長 友部 征和



いい当たり

委員長杯 グラウンドゴルフ大会

第4回菅谷地区まちづくり委員会委員長杯グラウンドゴルフ大会が、令和4年9月21日(水)、那珂総合公園(なかLucckyFM公園)・多目的広場において元気よく開催されました。

大型台風14号の影響で曇り空でのスタートとなりましたが、開会式で4人一組のメンバーが発表された際には、返事の代わりに「全員張り切っています!」との声が聞こえるなど、参加した皆さんの意欲は満々。ハーフが終わるころには青空が見え始め、爽やかな秋の日差しが降り注ぐグラウンドには、ボールを叩く乾いた音が、コーン コーンと鳴り響いていました。

なお、この日の参加者は最高齢91歳の方から63歳までの総勢36名。遠くのホールポストを目指し、力強くクラブをスイングするなど、はつらつとしたプレーが繰り広げられました。

結果は次の通りです。

- 優勝 小田倉 修さん(かしま白)
- 準優勝 吉澤鬼子光さん(菅谷中宿)
- 第3位 安藤あい子さん(かしま白)



準優勝
吉澤さん



3位
安藤さん



優勝
小田倉さん



ナイスショット!



開会式

生徒の健やかな成長を願って

那珂市立第一中学校

校長 手塚 浩志



歴史と伝統のある第一中学校に赴任し、明るく素直な生徒、温かく協力的な保護者や地域の方々によって勤務できることに感謝しております。本年度は、「皆と感動を創り出す学校づくり」をテーマに、全職員が一丸となつて、生徒の健やかな成長を願う教育活動を行っております。3年目となるコロナ禍の中で、5月に体育祭、6月には京都・奈良方面への修学旅行、総合体育大会など、生徒にとつて思い出に残る行事を実施することが

小中一貫教育を地域とともに

那珂市立第四中学校

校長 永井 美恵子



今年度、初めて那珂市の中心である菅谷地区の第四中学校に赴任しました。学習にも部活動にも積極的な生徒たちと、生徒たちを全力で支える、温かく頼もしい教職員が、活気に満ちた学校をつくっています。毎朝、地域のボランティアの方と一緒に立哨と挨拶運動をして、小学生と本校生徒を見守っています。爽やかな挨拶や横断歩道で止まってくれた車の方に会釈やお礼の言葉を

できました。特に、3年ぶりの修学旅行では、国の歴史や文化の発祥の地である京都・奈良の歴史や故人の考え方に触れ、生徒にとつて感慨深いものとなりました。

二期以降も感染対策を徹底し、「実施するためにはどうするか」という視点で、子どもたちのために様々な教育活動に取り組んで参ります。今後とも保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いたします。



総体に向けた部活動壮行会

「寄稿

新任のご挨拶

真澄の心

那珂市立菅谷小学校

校長 武居 幸雄



「空高く地は広やかにのびゆくは真澄の心」と、子ども達の清らかな心の成長を願った校歌。そして次年度、150周年を迎える、伝統と歴史ある菅谷小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。本年度のスローガンは「すすんでがんばるやさしい子」です。一人一人の児童が、様々な教育活動を通して、自分を大切にするとともに、家

今できることは何かを常に考えて

那珂市立菅谷西小学校

校長 川野 康子



豊かな自然、歴史と伝統ある那珂市。本年度、菅谷西小学校に赴任させていただきました。学校の周りには、たくさんの桜が植えられ、満開の桜に囲まれながら令和4年度をスタートいたしました。朝、正門に立っていると、子供たちの登校と共に保護者や地域の方にお会いします。笑顔で温かい挨拶のやりとり、私の心は元気いっぱいになります。

庭や地域とのつながりを大切にする。さらに、育てられてきたことに感謝し、社会や国を支える一員となれるよう全力で応援していきたいと考えております。

元気あふれる子どもたち、人間性豊かで活気に満ちた教職員、協力的で温かく学校を見守ってくださる保護者・地域の皆様と共に目標達成のため取り組んでまいります。



保護者・地域の方とともに作る学校花壇「花いっぱい笑顔いっぱいプロジェクト」

素晴らしい地域の中で子供たちが育まれていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、今できることは何かを常に考え、菅谷西小学校全職員で子供たちと向き合っていきたいと思っております。そして、学校で過ごす「〇年生」という時間を大切に

にして、日々の教育活動を進めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



学習風景

地域は児童の心のふるさと

小中学校校長先生との懇談会を開催

令和4年度の菅谷地区小中学校校長先生とまちづくり委員会関係者の懇談会が8月26日、菅谷地区交流センターで開催されました。

これには地区内の5小中学校の校長（教頭）を始め、自治会長、民生児童委員の代表が出席。学校側から「豊かな感性と知性を身に付け、たくましく未来を切り拓く生徒の育成」（ばら野学園）、「自ら学び 夢に向かって努力する児童生徒の育成」（わかすぎ学園）との教育目標のもと多角的かつきめ細やかな教育がなされている現状が報告されました。

この後の懇談では、通学路の安全対策や地域の美化活動など、地域と学校の連携の大切さを確認。学校の理念の一つとなっている「地域は、児童にとって『心のふるさと』であり、社会を生き抜くホームベースである」に呼応し、幼稚園、小学校、中学校、加えて「地域」の一貫した教育環境を整えていくことの大切さを共有しました。

総務副部長 石川 二三男



前向きな意見が交わされた

「菅・まち・美術展」中学生が力作を展示

令和4年3月19日（土）から21日（月）まで「菅・まち・美術展」を市立図書館の展示コーナーで実施しました。

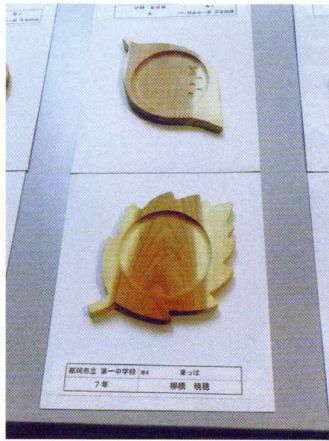
コロナ禍で生徒の学びの成果を発表する機会が失われていたことから、ばら野学園那珂市立第一中学校とわかすぎ学園那珂市立第四中学校の美術作品を「菅・まち・テラス」の一環として展示しました。

どの作品も素晴らしく、なかには本物と見間違えるような造形作品もあり、鑑賞された方々から「よく出来ていますね」「中学生の作品とは思えない」など感想を頂きました。

事務局 磯崎 史絵



素晴らしい作品群



見事な出来映え



美味しそうな造形作品

自治会加入について

自治会の加入率は全国的にも減少傾向にあります。自治体によっては「自治会加入促進条例」を制定している市区もあります。那珂市としても、市役所一階のディスプレイで加入を呼び掛けています。災害などの非常時には、近所の助け合いが、多くの命を守る一助となります。それだけに、私たち一人ひとりが地域に関心を寄せ、行動することが、安心・安全な地域づくりに大切です。各自治会では会員の加入促進に取り組んでいます。お気軽にご相談下さい。

編集後記

コロナ「全数把握」見直しなど、感染防止対策が新たな段階に移行する中、まちづくりの活動も「菅・まち・テラス」に見るように、コロナ前の形に少しでも戻そうと工夫しました。今後も、コロナ禍の中で活動を展開するにあたり、正しい情報を集めて情勢を見極め、決断実行を大胆細心に進めたいと思います。

総務部長 塚原 茂樹